



株式会社 桑山 第49期 事業報告書

H29.4.1～H30.3.31

証券コード:7889

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第49期（平成29年4月1日より平成30年3月31日まで）における事業概況を取りまとめましたのでご報告申し上げます。

事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策により雇用情勢や企業収益の改善が見られ緩やかな回復基調が続きました。世界経済においても緩やかな回復が見込まれるなかで、通商問題の動向や地政学的リスクなどにより、先行き不透明な状況が続いております。

個人消費は持ち直しており、当業界の小売市場でもクリスマス以降回復の兆しが窺えますが、趣味・嗜好品の分野では消費者マインドはやや弱含みで、予断を許さない状況が続いております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、「クオリティ・ファースト」を掲げ、製品品質、企画提案力、営業対応力を企業活動の品質と捉え、その改善・強化を進め、ジュエリー製造国内トップシェアのポジションを堅持しました。

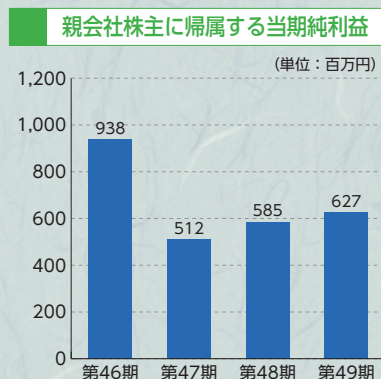
当期においては、国際的なダイヤモンド市場の環境変化に鑑み、今後の市場変動、リスク発生の可能性などの評価・判断のための情報収集を行い、当社のダイヤモンド調達体制の見直しと、当期での大幅な仕入抑制を実施しました。この結果、当社のダイヤモンド素材販売は大幅に減少しました。

国内市場では、上述のとおりクリスマス商戦から小売市場の回復の兆しが窺え、当社においても第4四半期で売上は改善しましたが、通期では春夏の販売不振による先行き不透明感から、年末年始商戦の大口受注が通年に比べ遅れ、一時期に偏って受注が集中しました。このため受注見込みに対する変動ブレ幅が大きくなり、効率的対応が行えず、生産性を低下させる結果となり、減益となりました。

海外市場では、当社の強みであるODM製品提案が中国市場で順調に伸長しました。また、中国2工場を含め、海外事業を集約した本社機能を有する新組織として、桑山インターナショナルが当期末から立ち上がり、これによって中国市場をはじめ、アジア・北米の市場にスピーディに対応する製販一体体制の整備が進みましたが、期中での業績貢献には至りませんでした。

当期での生産性の低下など事業効率の悪化は、当社グループでの営業・製造体制に問題があったためと真摯に反省し、当期末より、主要取引先との年間受発注計画の組成などの施策に着手しており、次期での着実な改善と成果に繋げる所存です。

以上の結果、当連結会計年度での売上高は329億98百万円（前期比11.8%減）、売上総利益は91億4百万円（前期比8.4%減）となり、販売費及び一般管理費は82億34百万円（前期比4.8%減）となった結果、営業利益



は8億69百万円（前期比32.1%減）、経常利益は為替差益の発生から10億10百万円（前期比35.9%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は6億27百万円（前期比7.1%増）となりました。

🌀 企業集団が対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、国内景気は緩やかな回復が続くと期待されますが、海外では中国を始めアジア新興国の経済の先行きの不確実性、米国を中心とする通商問題の動向、金融資本市場の変動などによる下振れリスクが懸念されます。

当業界では、昨年のクリスマス時期から小売市場での回復の兆しが窺えましたが、消費者の節約志向や先行きの不透明感から市場動向は予断を許さない状況が予想されます。

当社グループでは、当期で顕在化した課題への対処が最優先事項と認識し、主要取引先と協働での年間開発計画策定に注力し、受注予定管理の精緻化と納期短縮を図ります。そのために営業・製造間の緊密な連携と、当社グループ4工場の生産管理の一元化による生産能力の最適化を推進いたします。また、取引先ニーズに応える迅速な新製品の開発に向けて、営業・製造の開発チームを統合する組織変更を当期末に実施しました。これらの施策により、「クオリティ・ファースト」を土台として競争力を磨き、ジュエリー製造国内トップシェアの地位をさらに堅固とする所存です。

海外市場では、当期末に立ち上がった桑山インターナショナルの体制の充実を図るため、現地での多様な人材の発掘・採用を進め、市場動向の把握から商品の開発提案、製造販売に至るビジネスモデルを確立し、取引先とのより緊密な関係の構築を目指します。

また、市場の環境変化に対するリスク軽減の視点から、在庫の縮減・効率化、徹底した与信管理にも引き続き取り組んでまいります。さらに、グループ事業拡大に対応して、国内外に展開するグループ会社間での緊密な連携により、スピード感のある事業の発展に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



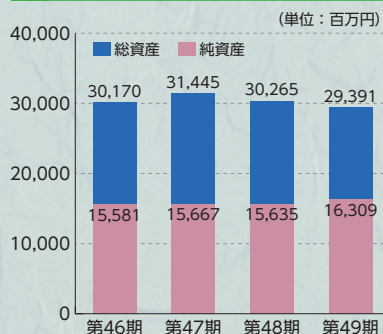
代表取締役社長 桑山貴洋

平成30年6月

1株当たり当期純利益



総資産・純資産



1株当たり純資産



連結計算書類

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 平成30年3月31日現在	前連結会計年度 平成29年3月31日現在
資 産 の 部		
流 動 資 産	18,722	19,401
固 定 資 産	10,669	10,863
有形固定資産	7,475	7,341
無形固定資産	695	708
投資その他の資産	2,498	2,813
資 産 合 計	29,391	30,265
負 債 の 部		
流 動 負 債	5,443	7,104
固 定 負 債	7,639	7,525
負 債 合 計	13,082	14,630
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	15,389	14,997
資 本 金	3,013	3,013
資 本 剰 余 金	2,944	2,944
利 益 剰 余 金	9,587	9,196
自 己 株 式	△156	△156
その他の包括利益累計額	919	637
その他有価証券評価差額金	531	385
為替換算調整勘定	387	252
純 資 産 合 計	16,309	15,635
負 債 ・ 純 資 産 合 計	29,391	30,265

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
売 上 高	32,998	37,393
売 上 原 価	23,894	27,457
売 上 総 利 益	9,104	9,936
販売費及び一般管理費	8,234	8,654
営 業 利 益	869	1,281
営 業 外 収 益	326	446
営 業 外 費 用	185	151
経 常 利 益	1,010	1,577
特 別 利 益	81	486
特 別 損 失	66	731
税金等調整前当期純利益	1,025	1,331
法人税、住民税及び事業税	437	757
法 人 税 等 調 整 額	△39	△11
当 期 純 利 益	627	585
親会社株主に帰属する当期純利益	627	585

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	393	2,718
投資活動によるキャッシュ・フロー	486	△456
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,149	△1,837
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	△42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△207	382
現金及び現金同等物の期首残高	2,942	2,559
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	85	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,819	2,942

計算書類

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 平成30年3月31日現在	前 期 平成29年3月31日現在
資 産 の 部		
流 動 資 産	11,155	12,218
固 定 資 産	13,757	12,695
有形固定資産	6,226	6,275
無形固定資産	622	632
投資その他の資産	6,908	5,787
資 産 合 計	24,912	24,913
負 債 の 部		
流 動 負 債	4,427	5,017
固 定 負 債	7,233	7,070
負 債 合 計	11,660	12,088
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	12,808	12,516
資 本 金	3,013	3,013
資 本 剰 余 金	2,944	2,944
利 益 剰 余 金	7,007	6,715
自 己 株 式	△156	△156
評価・換算差額等	443	308
その他有価証券評価差額金	443	308
純 資 産 合 計	13,252	12,825
負 債 ・ 純 資 産 合 計	24,912	24,913

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	前 期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
売 上 高	20,130	25,596
売 上 原 価	17,493	22,421
売 上 総 利 益	2,637	3,174
販売費及び一般管理費	2,388	2,595
営 業 利 益	249	579
営 業 外 収 益	484	305
営 業 外 費 用	155	126
経 常 利 益	577	758
特 別 利 益	33	473
特 別 損 失	60	730
税 引 前 当 期 純 利 益	550	502
法人税、住民税及び事業税	128	437
法 人 税 等 調 整 額	△50	△5
当 期 純 利 益	473	69

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「JJAジュエリーデザインアワード2017」最高賞を受賞 「クチュールデザインアワード（米国ラスベガス）」プラチナ部門最高賞を受賞

日本のジュエリー業界において最も権威あるジュエリーコンテストとして知られる「JJAジュエリーデザインアワード」で、株式会社桑山の作品が今年度の最高賞「日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞」と「技術賞」を受賞しました。

また、2018年5月31日から6月4日まで米国ラスベガスにて開催された、「The COUTURE Show」に出展し、併催のデザインコンテスト「COUTURE Design Award」の「Platinum」部門においても最高賞であるWinnerを受賞しました。

受賞作品の「Ecume」（仏語で「泡」の意）は、泡が持つレンズ効果と沸き立つ躍動感の美しさから着想を得てデザインされ、プラチナ、ダイヤモンド、真珠、水晶など多様な素材の特性を効果的に活かして製作されたネックレスです。

今回の受賞は、当社の斬新な発想力とデザイン力に加え、それを具現化する、先進技術と高度なクラフトマンシップとの融合による技術力が総合的に評価されました。



国際的な展示会でオリジナルジュエリーを発信



「国際宝飾展IJT2018」
2018年1月24日-1月27日 東京ビッグサイト

3D技術による製品開発



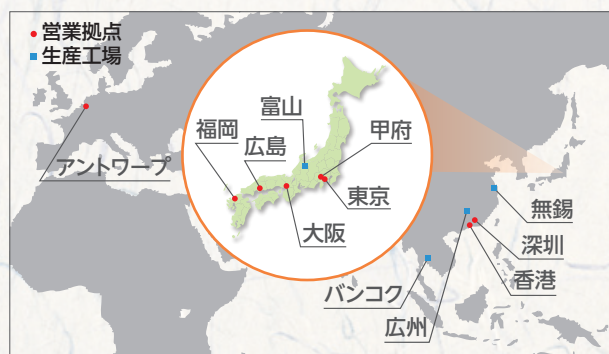
国際宝飾展IJT2017で発表した
新作3Dジュエリー

会社概要・株式情報

会社概要 (平成30年3月31日現在)

社名 株式会社桑山
 資本金 30億1,352万円
 設立年月日 昭和45年4月14日
 従業員数 連結1,471名 単体352名
 本社所在地 〒110-0015
 東京都台東区東上野2-23-21

桑山グループ拠点一覧



子会社

株式会社エヌジェー*
 株式会社プリリアンスインターナショナルジャパン*
 株式会社クレール*
 株式会社HAKKOインターナショナル*
 株式会社 K.C.D
 有限会社アトリエジーエスピー
 CHRISTY GEM CO.,LTD.*
 Kuwayama International Co.,Ltd.*
 無錫金藤首飾有限公司*
 広州桑山珠宝有限公司*
 KUWAYAMA EUROPE N.V.*

(注) ※連結子会社

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数 22,929,100株
 発行済株式の総数 10,056,708株
 (自己株式 274,838株を除く)
 株主数 1,621名
 大株主

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
有限会社山洋	3,353	33.3
桑山征洋	1,299	12.9
株式会社ツツミ	617	6.1
桑山貴洋	469	4.7
桑山みき子	429	4.3
相原信雄	377	3.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	352	3.5
株式会社北陸銀行	275	2.7
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	239	2.4
株式会社みずほ銀行	214	2.1

(注) 1. 持株比率は自己株式274千株を控除して計算しております。
 2. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日に株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

役員一覧 (平成30年6月27日現在)

代表取締役会長	桑山征洋	執行役員	立道穂高
代表取締役社長	桑山貴洋	執行役員	江藤寿晃
取締役	佐伯 仁		
取締役	原崎則子		
取締役	堀 功		
取締役	松浦 茂		
取締役*1	上平光一		
常勤監査役	甘粕正明		
監査役*2	松田良行		
監査役*2	立石知雄		

(注) ※1 社外取締役であります。
 ※2 社外監査役であります。

株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月中
- 期末配当金** 毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録されている株主にお支払いいたします。
- 中間配当金** 取締役会の決議により9月30日現在の株主名簿に記載または記録されている株主にお支払いいたします。
- 公告方法** 電子公告により、当社ホームページ (<http://www.kuwayama.co.jp/>) に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることが出来ないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先** 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

● ホームページのご案内 ●



<http://www.kuwayama.co.jp/>